

門 九号
番 1.365
卷 2



秋鹿郡

合郷四。里一十二。神戸一。

惠曇郷 本字 惠伴

多太郷 今依 赤用

大野郷 今依 赤用

伊濃郷 本字 伊努

以上西郷。別小里三。

神戸里

○出雲風土記假字書秋鹿郡



秋麻アキカとちりたるゆゑに。那家の正北アキカヒ秋麻日女命メノミコト坐坐。故故秋麻アキカと云云。

エトモノサト。コホリヤ。ヒムガシキタ。ククリサムシフ。ブ。エトモノサト。コホリヤ。ヒムガシキタ。ククリサムシフ。ブ。

伊子磐坂日子命イハサカヒコノミコト國クニめぐりま坐。時トキ此處此處至至。

りま坐て詔ウタガハシる。此處此處の國クニめぐりま坐。時トキ此處此處至至。

國クニ形カタとみみどくちるうも。何ナニが宮ミヤりま坐。此處此處に

はくらむとの詔給タマヒひき。かき故惠エ伴トモとりふ。神龜カメ

三年字を惠エ曇トモとら故む。

中初

多太々タタタ那家ナカ北キタ西ニシ五里イハヒ一百二十步ヒトヒトニ。正北マキタのを乃

命ミコト此御子コノミコト衝ツキ梓スサキ等ナド乎ナニ而留ル比古命ヒコノミコト國クニ多タらま坐

一トキ時トキ此處此處至至。詔ウタガハシる。吾ウレが心ココロを

照テ明ミ正マ直ナ成ナリ。吾ウレ此處此處志ココロ茂モトり

將マシ坐坐。詔ウタガハシる。給タマヒひてま坐。乃ナニ多タ

大野々オホノササ那家ナカ北キタ正マ西ニシ一ヒト十ト里リ二ニ十ト步フ。和加布都努志ワカフツヌシ

能命ノミコト。御ミ將マシ為ナリ。一トキ時トキ此處此處西ニシ乃ナニ山ヤマ小將コノマシ

○出雲風土記假字書

○世九

人^{ヒト}を^タ立^{タテ}せ^テ給^{タテ}ひて^追お^トと^セる^猪厩^{イノ}。水^{ミヅ}の^山北^{ヤマ}河^カ内^ノ。
 各^カ小^コい^至ら^其りて^牛。その^猪を^跡跡^{アト}う^古せ^失ぬ。そ^トレ^キ時^{トキ}を^認り
 給^{タテ}ま^自ら^然お^裁し^牛げ^{アト}う^古せ^失ぬ。猪^{イノ}の^跡跡^{アト}う^古せ^失ぬと
 認^{ウチ}ひ^云き。かれ^然内^ノ野^ノとい^云ふ。志^イる^{ヒト}故^ノ今^ノの^人を^厚
 誤^{オホ}や^ヌま^ヌら^號と^りり。

伊^イ農^ノ々^{サト}那^ノ家^ノ北^ノ正^ニ西^ニ一^ニ十^ニ四^ニ里^ニ二^ニ百^ニ步^ニ。出^イ雲^ノ那^ノの^いぬ
 赤^{アカ}衣^ノ仔^ノ農^ノ玄^ノ保^ノ須^ノ英^ノ比^ノ古^ノ佐^ノ和^ノ
 氣^キ能^ノ命^ノ此^ノ后^ノ。天^ノ癩^ノ津^ノ日^ノ女^ノ命^ノ。團^ノめ^ノを^りま^りす^り時^{トキ}。

此^レ處^ニ至^ル坐^ス。認^ルり^テ行^ク農^ノと^りり^坐。給^{タテ}ひ^キ。か^レを^イ伊^ノ努^ノ中^ノへ^云。神^ノ龜^ノ三^ノ年^ノ字^ノを^イ伊^ノ農^ノと^りり^改。
 改^メら^レた^ルむ。

神^{カム}戸^ベ里^ノ出^{サト}雲^ノ。名^ナ次^ノ中^ノへ^説。あ^ガく^ウ意^ノ字^ノ那^ノ此^ノ如^ノ。

- 依^サ太^ダ御^ノ子^ノ社^ノ
- 比^ヒ多^タ社^ノ
- 御^ミ井^ノ社^ノ
- 垂^{タリ}氷^ノ社^ノ
- 惠^エ掬^ド毛^ノ社^ノ
- 許^コ曾^ノ志^ノ社^ノ
- 大^オ野^ノ津^ノ社^ノ
- 宇^ウ多^タ貴^ノ社^ノ
- 大^オ井^ノ社^ノ
- 宇^ウ知^チ社^ノ

○出雲風土記假字書

○罕

以上の一十所ハ。並カム祇宮ナリ。

惠曇海邊社 同海邊社 奴多之社

那多太社 同多太社

出源社 河之幸社 田仲社

孫多仁社 細見社 同下社

伊努社 毛之社 草野社

秋麻社

以上共一十六所ハ。並祇宮ナリ。

山

神名火山。郡家乃東小九里四十步。二百二十

丈。周一十四里。依太大神社。乃

乃山下にあり。

足日山。郡家乃東小七里。一百七十丈。周一

里二百步。

女嵩山。郡家正西二十里二十步。一百八

十丈。周六里。此ちこえて。百姓のうろくする園

あり。樹木あり。但嶺。みね又松林あり。此則

とら 神社あり。

都勢 所山 郡家の正西一十里二十歩。一

十丈。周五里。樹木なる。嶺中み潭あり。周五十歩。

薤藤 荻笋 茅花 志げくおひ。伏 兼 峠

今山 郡家の正西一十里二十歩。周五里。

凡諸山野あり。草本あり。白朮 獨活 女青 苦参

貝母 牡丹 連翹 伏苓 藍染 女萎 細辛 蜀椒 薯蕷 白

朮 椒 禽獸ふらふれとら 鵬 晨風 山鷓 雉 猪 鹿 兔

菽 芍薬 百部 根 薇 蕨 薺 頭 蒿 藤 李 赤桐 推 椿 栲 松

栝 楸 菴 藟 檉 藜 刺 楸 檉 藜 刺 楸 檉 藜 刺

菴 藟 檉 藜 刺 楸 檉 藜 刺 楸 檉 藜 刺

菴 藟 檉 藜 刺 楸 檉 藜 刺 楸 檉 藜 刺

依太川 源二あり 東水の源なり 所謂 多

久川 流れたり 西水乃 源なり 秋麻 郡 産 渡村より

出づ。二水合て 南小なるがれて 依太水 海入り

そら 水 海 周 七里 辨あり。水海 入 海 又 通れ

る。湖 長さ 一 百 五 十 歩。廣さ 一 十 歩。

山田川源を那家乃西七里湯太山より出。南
小流をて海に入る。

多太川源を那家正西一十里。女嵩野山より出
川南をちがれて海に入る。

大野川源を那家正西一十三里磐門山より出
川南に流れて海に入る。

草野川源を那家正西一十四里。大継山より出
川南に流れて海に入る。

伊農川源を那家正西一十六里。伊農山より出
川南に流れて海に入る。

長江川源を那家の東九里二十步。那名大山より出
川南に流れて海に入る。以上の七川は並

魚無。

惠曇池。本字惠休。惠曇字に改て。養老元年

養老元年。鴨紐。四邊小葺。蔣菅。生。養老元年
より。以。往。ハチス。自。然。叢。生。天。平。二。年。

以ヨリ降リの自然然至至失失都都無無。俗人
以降れのごく。至失都無。俗人
ソノ底小陶器。應龜等の致あり。一有
り。古より時人おのしめなき。深淺を志
ら。知。

深田池。周二百三十歩。鶯鶯鶯鶯鶯鶯。
杜系池。周一里二百歩。

峰侍池。周一里。
佐久羅池。周一里一百歩。鶯鶯鶯鶯。

南へ入海。春々則。鮎魚。須受。根。仁。糖。飯。等。
大小雜魚あり。秋々則。白鶴。雁。龜。鶯。等。
の鳥りる。

川 小川大海。

惠曇。深。度。二里。一百八十歩。東南並家あり。西も
野々大海。すねらる。浦より。在家。ふらる。間。

四方みし。石木あり。白沙乃積。如
大風よく時々。そのゆ。或は風のすた。く雪の如

○出雲風土記假字書

○四十四

零 アル 因 アリ 散 ハ
 くにふ里。或は流小よりて城の如くにあり。桑
アサ 麻をおり。即 アサ 桑 アサ 壁二所あり。一所
アサ 厚さ三丈。廣さ一丈。高さ八尺。一所厚さ二
アサ 丈。二尺。廣さ一丈。高さ一丈。其中に アサ 通 アサ 川
キタ 小又流れて大海又つる。川の東は源根あり。
ニシ 西は秋麻郡の内あり。川 カハ 口より南方は田邊系
至 至 アサ 間長さ一百八十歩。廣さ一丈。又 アサ 源 アサ 田
ミツ 水あり。上 カキ 文 アサ 小 アサ 所 アサ 謂 アサ 依 アサ 太 アサ 川 アサ の アサ 西 アサ 乃 アサ 源 アサ 小 アサ

同 處
 おれどところあり。

オホ 凡渡村の田 タ 水 ミ 南 ミ 小 ミ 又 ミ 源 ミ あり。古 コ 老 ロ の ノ 傳 デン 小
云 云 ニ 傳 デン 根 ネ 郡 ノ の ノ 大 ダイ 領 リョウ 社 シャ 初 ハツメ 所 シヨ 訓 クニ 麻 マ 呂 ロ 呂 ロ 組 クミ 波 ハ 縣 ケン 等
イナ 稻田 イナ 比 ヒ 沼 ヌマ 小 コ 又 コ 源 コ あり。浦 ウラ 子
ニシ 西 ニシ の ノ 城 シロ より ヨリ 楯 タテ 總 ソウ 郡 ノ 比 ヒ 塚 ツカ 小 コ 又 コ 源 コ あり。自 シ 毛 モ 崎 サキ の ノ 間
ハシ 石 イシ 壁 カベ 等 ト 崔 サイ 鬼 キ 風 カゼ 去 サ 川 カハ 乃 ノ ち チ あり。も モ 舟 フネ 往 ユキ 來 キ
由 由 ユ 停 ト 泊 ト 頭 ト 無 ク
シロ 白 シロ 崎 サキ 紫 ムラサキ 苜 モウ 菜 サイ あり。

御嶋。字々六丈周八十歩。松三株有り。
都於海濱あり。

著穂海藻あり。

凡水の海ふり。所在。雑おと。鮎。佐波鳥城。鮎魚。

塚。野貝。畔甲。羸石。華。駿子。海藻。海松。紫菜。靛。海菜。

鳩根。郊の塚。佐太。檜ふり。八里二百歩。捕。總。

郊の塚。仔。農。檜。ふ。通。り。一十五里。〇〇歩。

道通

郡司主帳外。後八位。下勲業。目下部。後。

大領外。正八位。下勲業。刑部。后。

権任。少領。後八位。下。後。部。后。

楯縫郡 タテヌヒノコホリ

合郷四里一十二 アヒテテリヨツサトトヲテリフタアヒリヒトツカムヒトツ 餘戸一 カムヒトツ

依番郡 サカノサト 今依番用 イサキノミクモチラ

楯縫郷 タテヌヒノサト 今依番用 イサキノミクモチラ

玖潭郷 クツタニノサト 本字忽美 モトノジクタミ

沼田郷 ヌマタノサト 本字努多 モトノジヌタ

以上四郷別小里三 カミクダリヨサトサトサトヨサトミツ

餘戸里 アヒリノミノサト

○出雲風土記假字書 楯縫郡

神戶里

稍タテ繼スヒとテ造スくハ分クゆル也ハ。神魂命カミムスヒノミコト詔リタメくル。百モ、チ千タル足

天ヒノスノミヤ 縦ヒ 横ヒ 御ヒ 量ヒ

何ナニのミ日ヒ栖ス宮ミヤ此コノ串クシをシよク夫ソノのミとル。あハ乃ハ乃ハ撈タ繩ヒ

持モ、ムスりテ百モ、ムス結ムスびムむスびムやハとシひキびム結ムスびムさハげク。

此コノ乃ハ天アメのミ御ミ量ハカリりテ天アメ下ノにシたシるル。大オホ神カミ

宮ミヤつツりテまマのミ祈ノとシるル給タひテ御ミ子コ天アメ御ミ

鳥トリ命ノミコトとシ楯タテ造スくル。天アメ降ノりテ給タひキ。そのトキ

退ヒ下ノにシてシまマすル。大オホ神カミ宮ミヤにシてシひキ。

あハ乃ハ天アメのミ御ミ量ハカリりテ天アメ下ノにシたシるル。大オホ神カミ

宮ミヤつツりテまマのミ祈ノとシるル給タひテ御ミ子コ天アメ御ミ

鳥トリ命ノミコトとシ楯タテ造スくル。天アメ降ノりテ給タひキ。そのトキ

退ヒ下ノにシてシまマすル。大オホ神カミ宮ミヤにシてシひキ。

楯タテ造スくル。始ハジメにシてシるル給タひキ。故コト今イマ

小コ楯タテ造スくル。皇スメ神カミ等タチ小コうウをシるル。故コト今イマ

楯タテ造スくル。始ハジメにシてシるル給タひキ。故コト今イマ

小コ楯タテ造スくル。皇スメ神カミ等タチ小コうウをシるル。故コト今イマ

楯タテ造スくル。始ハジメにシてシるル給タひキ。故コト今イマ

小コ楯タテ造スくル。皇スメ神カミ等タチ小コうウをシるル。故コト今イマ

依サ香カ心シン。邪ヨホ家リヤのミ正ヒカシ東シ四シ里リ一ヒヤク百ロク六ジュウ十ブ步ブ。依サ香カ七カフ河チ内チ

小モ、ヤソ百カミ八タチ十タチ神タチ等タチにシてシるル。御ミ厨クリヤにシてシるル。

酒サケとシつツせシるル。令ノリ釀カヒ給タひキ。故コト今イマ

酒サケとシつツせシるル。令ノリ釀カヒ給タひキ。故コト今イマ

酒サケとシつツせシるル。令ノリ釀カヒ給タひキ。故コト今イマ

酒サケとシつツせシるル。令ノリ釀カヒ給タひキ。故コト今イマ

酒サケとシつツせシるル。令ノリ釀カヒ給タひキ。故コト今イマ

酒サケとシつツせシるル。令ノリ釀カヒ給タひキ。故コト今イマ

のぶ^如。その^即ち水^{キタ}は海^{ウミ}の濱^{ハマ}乃^{ハニ}業^ノ梨^リ碓^シ有^リ窟^{イヤ}
 り^裏。うち^裏は方^{カタ}一丈半^{イチヂヤウハム}。高^{タカ}さ度^{ヒロ}さおの^各く七尺^{シチシヤク}裏^{ウラ}
 此^{ミナミ}南^{カベ}乃^{アナ}磐^{イハ}穴^{アナ}あり。口^{クチ}は^周め^{ロクシヤク}を^徑り六尺^{ロクシヤク}。二^ニ
 尺^{シヤク}人^{ヒト}えい^{不得}入^入。遠^遠さ^近ち^{不知}は^不を^知ま^不る^知。

玖^ク澤^{サハ}々^々那^ナ家^カ北^{キタ}正^{マニシ}西^シ五^ゴ里^リ二^ニ百^{ヒヤク}步^ブ。天^{アマノ}下^{シタ}造^所造^造
 大^{オホ}神^{カミ}命^{ノミコト}。天^天御^{ミコト}飯^{イヒ}田^タの^ミ御^ミ倉^{クラ}つ^造り^給ひ^タま^タへ^タむ
 ところを^覓ま^巡ぎ^行め^給ら^給る^給。其^{ソノ}時^{トキ}は^暴雨^{アメノ}
 久^ク友^{トモ}英^{ヒコ}北^{キタ}山^{ヤマ}との^詔ま^給る^給。か^故れ^云忽^{クニ}英^{ヒコ}と^云ら^云ふ

神龜三^{シム}幸^{キチ}字^ジを^改澤^{サハ}と^改り^給ふ^給。

沼^ヌ田^タ々^々那^ナ家^カ北^{キタ}正^{マニシ}西^シ八^{ハチ}里^リ六^{ロク}十^{ジュウ}步^ブ。宇^ウ乃^ノ治^チ比^ヒ古^コ命^{ノミコト}。水^{ミヅ}

水^{ミヅ}を^以て^乾飯^{イヒ}ニ^タ食^シ坐^マ
 と^詔ひ^給く。亦^タ多^タと^負お^給は^給せ^給給^給ひ^給き。然^然則^則
 々^{サト}と^可謂^謂ふ^給。今^{イマ}は^{ヒト}人^{ヒト}を^猶は^ヌ多^タと^云ふ^給。

三^ニ幸^ニ字^ニと^改沼^ヌ田^タと^改り^給ふ^給。

餘^ア戸^リ里^{サト}名^ナを^説と^オウ^ウノ^ノヨ^ヨリ^リ
 神^{カミ}戸^{ベノ}里^{サト}出^イ雲^{ヅモ}と^ナり^説。名^ナを^オウ^ウノ^ノヨ^ヨリ^リと^如す^如。

社

新造院一所。田代中ふりり。巖堂ゴムタウ建立ケンリヤ。
の正西六里一百六十步。大領出雲屋大田オホタ造。
くるゆ所あり。

久多良社

多久社

佐加社

乃利斯社

御津社

水社

許豆乃社

許豆社

同社

以上コトコロの九所ミナ並ム神フカサ祇カサ宮カサあり。

許豆乃社

又許豆社

又許豆社

久多良社

同久多良社

高守社

又高守社

紫菜橋社

朝前社

宿努社

崎田社

山々社

葦系社

又葦系社

田田社

峴之社

阿牟知社

葦系社

田田社

以上の二十九所並神カ祇フカサ宮カサあり。

神名カミナ通ト山ヤマ那家ナカ東ヒガシ水ミヅ六里ムサシ一百六十步ヒヤクロクジュウシヤク。

○出雲風土記假字書

山

ニシフ ゴツゴ 二十丈五尺。周 ニシフ 二十一里。一百八十步。鬼の西小
イシカミ 石神あり。一丈。周一丈。寸。一尺。小石神
モ、ニリベカリ 百餘斗あり。古老の傳ふり。阿邊須 キタカヒコノ
ミコト 命は后天御魂日女命。多々村小素 キ 坐 タキ 多伎
フヒコノ 都比古命と云。給ふ。其時を トキ 教 ナガ
ミコト 命は神祖のむき 向位 たり。生 イ 敬 イ
此處 宜 宜 紹ひき。 所謂 石神の 即
タキ ち多伎都比古之命は神魂 ヒナリ 坐 當 雨

七 とくふ時 カラス 必雨 ア とふ 令 せ 零 ぬ 零 ぬ。

ア 阿豆麻夜山。邪家 コホリヤ 北正 ニキタ 小五里 ゴリ 四十步。

ミ 見掠山。邪家の西 ニシ 小七里。

ミ 凡諸山 所 在 在 草木 草木 と蜀椒 蜀椒 漆 漆 麥 麥 門冬 門冬 伏苓 伏苓 細

辛 辛白斂 杜仲 人冬 升麻 薯蕷 白朮 藤 李 樞 榆 推 赤

桐 桐白梧 海石 榴 楠 松 槻 禽 獸 山 鳥 鶻 鷹 鷹 鷹 鷹 鷹

旭 旭山 鷄 猪 鹿 兔 狢 彌 狢 飛 龍 龍 龍

依 依香川 源 々 邪家の東 水 小 水 川 川 名 名 樋 山 山 山

出河。東南小流れて海入る。

多之川。源ハ那家の東山神名樋山より出く。西南

小流れて海入る。

都宇川。源々二河。東北水の源ハ阿豆麻彦山よ

里出河。西北水乃源々見標山より出る。二水乃

出河。南小流れて海入る。

宇賀川。源々同見標山より出河。南に流れて海

入る。

池

麻奈加比池。周一里一十步。

大東池。周一里。

赤市池。周一里二百步。

沼田池。周一里五十步。

長田池。周一里一百步。

南ハ入海くさぐさ。此物等々。秋麻那。此説の如し。

小ハ大海。

白毛崎。秋麻那と掃邊那と二那の塚さかき山

とて松栢ツツカヘ志鬱げねる。すれ即ら農田ハヤブサの栢スりり。

佐香溪サカノハニヒロ廣ゴジフさ五十歩。

己自都溪コシツノハニヒロ廣クジフさ九十歩。

御津溪ミツノハニヒロ紫菜ムラサキノリあり生。

御津溪ミツノハニヒロ廣サムジラハチさ三十八歩。

能呂志溪ノロシハニヒロ紫菜ムラサキノリあり生。

能呂志溪ノロシハニヒロ廣ハチさ八歩。

篠間溪カニハニヒロ廣イチヒクさ一百歩。

彌豆溪ミヅシメ長ナガさ〇里二百歩。廣ヒロさ一里。周イナリさタリ嵯城ウヘ。上ウヘ小

松菜イモ芋イモりり。

許豆溪コヅシメ紫菜ムラサキノリあり生。

許豆溪コヅノハニヒロ廣イチヒクさ一百歩。出雲イツモと指クチ繼ヌヒの二フタ郡ニ此ココ堺サカイ。

凡オホ小海コふりり所在在。雑雑のモノおと。秋麻アキカノ乃コホリ説トキの

如如。中中々々紫菜ムラサキノリの指クチ繼ヌヒ郡郡あり尤も優ままははままり。

秋鹿アキカノ郡郡此ココ堺サカイ伊イ農ノリ川カハ不トホ通トホるハチ。八里ハチリ二ニ百ヒヤク六ロク十ジュウ四シ歩ブ。

出雲イツモ郡郡乃サカイ堺サカイ字ジ賀カ川カハ不トホ通トホるヒチ。七里ヒチリ一イチ百ヒヤク六ロク十ジュウ歩ブ。

郡司主帳无位物部臣

大領外役七位下勲業出雲臣

少領外正六位下勲業高善史

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

出雲郡

合郷八里二十 神戸一里二

健部郷 今依前用

漆沼郷 本字志豆沼

河内郷 今依前用

出雲郷 今依前用

杵築郷 本字寸付

伊努郷 本字伊農

○出雲風土記假字書

○五十四

美談郷

本字三太三

以上七郷別又里三

宇賀郷

今依前用里二

神戸郷

里二

出雲と云はれるゆゑなり。名は云々。國は如し。

健部々郡家の正東一十二里二百二十四歩。先年

宇夜里と云はれるゆゑなり。宇夜都命との山

峰小川のりりき。これより我々神乃社今又

猶此處ナホ小コせ里セ。かれ宇夜里ウヤノサトとのり。志シかふる小

のらにノラニ改カヘて健部ケンベと號ナツクるゆゑなり。纏向ニギキムクの

檜代宮ヒシロノミヤ小天下アメンシタ志シあり。め。天皇スメラミコト比ヒつが御ミ子

倭健命ヤマトタケミコトの所名シナをり。これとみらる給ひて。健部

をサダめ給ひき。其ミの時トキ神門カミカド后ノ古祢コノと健部ケンベ

定め給ひき。これより健部ケンベの后ノ等トいふ。今イふ。

今イふ。此處ナホに后ノ里セ。かき健部ケンベとのり。

漆沼々郡家の正東五里二百七十歩。神魂命カミムスヒノミコト比ヒつ

○出雲風土記假字書

○五十五

子。天津アミツ根キチカ值ミ可タカ美ヒ高コノ日子ミコト命ミナ乃ナ御ミ名ナ氏ミ也コモ。薦ニ抗クラ
志シ於ツ沼ヌ值ミと云ま云を云き。此コノ神カミ々ミ中サトノにウチま生る故がシれ志
豆ツ沼ヌと云りシム神キノ龜ニ三ミ年ト字セとシ隣シラ沼ヌと改りシム。す
即即ちミ正クラ倉クラりリ。

河内カフチノ々サト郡ノ家ヤの正南ミ一ミ十三ミ里ミ一ミ百ミ步ミ。斐ヒ伊イ此オホ大カハ河ハ
此此サトノサトノウチウチキタキタ流流故故カフチカフチ云云即即
ああのの中中流流ゆゆふふななるる。ゆゆれれ河内河内ととりり。即即ちち
らら堤堤ありあり。長ナガさイ一イ百ヒ七シ十ジュ丈ウ又ゴ尺シヤク七シ十ジュ又ゴ丈ウの
廣ヒロさシ七シ丈ウ九ジュ十ジュ又ゴ丈ウ此シ廣ヒロさシ四シ丈ウ又ゴ尺シヤク。

出雲イウモノ々サトす即れイらイ郡ノ家ヤ小ホ治リありナ。名ナ氏ミとクとクとク國クニみ
おおとと。

梓キツ築ツ々ノ郡ノ家ヤ此シ西ニ水ミ二ニ十ジュ八ハチ里リ六ロク十ジュ步ブ。八ヤ東ツカ水ミ長ミ津ツ
野ヌ命ノの國引クニ給ミひ後天ノ下タつ所く造くニ大ニ神カミの
宮ミヤ。此イ久キウすノら奉む諸とハ皇ヘ神カミ等タチ宮ミヤ所トコロ小
ま参あ集つオとオひオくオ。きオだオきオ給タひタきタ。か故まキすツ付ツと云り云ふ。
神シム龜キノ三ミ年ト字セとシ梓キ築ツとシらシむシ。

伊イ努ヌ々ノ郡ノ家ヤ此シ正ミ水ミ八ハチ里リ七シ十ジュ二ニ步ブ。國クニ引クニま坐くオ意イ

美豆努命比御子。亦食伊農意保須美比古佐倭
氣命乃社カノミコトをヤシロをサトノチ郷中サトノチ小ミ其ミ故コト也伊農と
ふシム神龜三年字を伊努とあり改也。

美談郷郡家比正水九里二百四十步。天下アメノタ所造

大神乃御子。和加布都努志命。天地アメノチ初判

後天のノチ。アメ御領ミ田のタ長チ供ツケ奉ホウ坐イハ

即その神々中カミサマ小ミ其ミ故コト也三太二とあり。

神龜三年字を美談とあり改也。即正倉あり。

宇賀々郡家の正水一十七里二十五步。天下アメノタ所造

大神命。かむひすびの命比御子。後門日女

命ミコト或よミひすヒ其時ソノトキ女神メカミをミ昔イマ給タマひ

あミげミかミれミぬミひミ時トキ大神オホカミをミ伺ウカガひミまミぎミ給タマひ

所コ則チ此コノをミなりミ。故コトウカ賀カとミ

即水の海をスナキキタ淡ハニ小ミ破イソなり。名をナ腦オキ破イソ字タカ一イチ丈ヂヤウ

許ガリ上人ミツノキ生シ芸ヒあミげミれミりミ。破イソ小ミ一イチ丈ヂヤウにミ至シばミ邑サト

人の朝夕ヒトゆミきミりミ。又ミ本ミ枝エダ人ヒトのミよミらミ

引ひけるが如く。破より西の方。に窟戸あり。さ
 度さおのく六尺許。いそや此内ふ穴なり。人
 得不入。深淺をき。後ふら此破乃窟の
 とりにいづるもみそめ。必し死ぬといへり。
 此俗人古より今小黄泉の坂。黄泉に穴といふ。
 神戸里郡家の西小二里一百二十歩。出雲をり。名
 新造院一所。河内の中なり。嚴堂と云。新造家

説 破とくまとい意字郡の如く。

の正南一十三里一百歩。舊の大領置部は布部
 造所 かにくるといふ所なり。今の大領佐宜鹿の祖父
 かり。

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-----|------|
| 伊奈佐乃社 | 曾伎乃夜社 | 意保美社 | 出雲社 | 梓築大社 |
| 孫太孫社 | 阿受伎社 | 曾伎乃夜社 | 御魂社 | 御魂社 |
| 阿我多社 | 英佐伎社 | 久牟社 | 伊努社 | 御向社 |

示土

同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同阿受支社 <small>オナシ アス キノ</small>	阿受支社 <small>アス キノ</small>	御前社 <small>サキノ</small>
同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同阿受支社 <small>オナシ アス キノ</small>	同阿受支社 <small>オナシ アス キノ</small>	同御崎社 <small>オナシ サキノ</small>
同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同阿受支社 <small>オナシ アス キノ</small>	同阿受支社 <small>オナシ アス キノ</small>	支豆支社 <small>サキノ</small>
同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同阿受支社 <small>オナシ アス キノ</small>	同阿受支社 <small>オナシ アス キノ</small>	支豆支社 <small>サキノ</small>

同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>
同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>
同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>
同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>	同 <small>オナシ</small>

○出雲風土記假字書

○六十

山

- 同社 孫努波社 山邊社
- 同社 同社 間野社
- 布西社 波絲社 佐支多社
- 支比佐社 神代社 同社
- 百技擁社

以上の六十四所を、カミノ多リ ムソヂリヨトコロ並に、カムムノカサ神祇官おろすと。

神名火山へ郡家の東南三里一百五十歩。カムナヒ ヤマ コホリヤ又さ一
百七十五丈周一十五里六十歩。為支能夜社イナ

と。伎比佐加美日子命社ヤシロすめをち山ノミの

嶺ミネふりり。故神名火山と云。

土雲の御崎山イツモを郡家北正水二十七里三百六十

歩。フタカ サムキク二百六十丈周一十六里一百六十五歩。西

のふりりといふ所下謂所アタレタ所造オホカミ

乃社ヤシロ坐。

凡オホソクりく諸此山野ヤミヌ所在所在草木クサキをトコロ早解百粒根

女委アノナ夜干高陸獨活カスガキ イタスキ ウツド葛根クダラネ薇ニカウ及フチ蒙スモ蜀椒ナルビカミ掄ヤニレ赤桐アカキ白シロ

桐推椿松栢會獸キリシヒツキニツカカトリクモも則とらハヤチヤネヤトリクモら晨風鳩山鷓鴣ツギ牛カオカミツキキネサルムサビ鶉猪鹿狼兎狐獼猴飛鼠ハルりり。

出雲北大川イヅモオホカハと源伯耆ミナモトハキと出雲イヅモと二國フタクニ乃坂サカヒトリクミヤ上山ヤマより流ナカまきて仁多那ニタノコホリツヨク横田村ヨコタノムラ出イデくすぬヨコを横田ヨコタ三處ミタチ三澤ミサハ布勢フセ等の四郷ヨサトと經ヘく大系郡オホハラノ郡北キタ坂サカ引沼村ヒキヌノムラ出イデて即ヨサト未次ミヂ斐伊ヒイ屋代ヤシロ津系ツキ等カムハラ乃ヨサト四ヨサト々ヨサトと經ヘ出雲郡イヅモノ郡の坂サカ多タ茂村モノムラ出イデく河内カフチ出雲イヅモ二フタヶ坂ヘ流キタまナカ更サラ又折をニぬナカく西スナチ又イヌ流スナチれ即イヌ伊努イヌ

梓築キヅキの二郷フタサトと經ヘ神門カムド北水海ミツウミ小入いり此則則と交カハはシモらカハいシモとカハ斐伊川ヒイノカハの下シモあり河カハの西ニシ北ホトリ邊ヒ哉哉土地土地豊饒イタタキアサイナボイナボ扶杖杖躑躑つオホハラらオホハラちオホハラこオホハラえオホハラ五穀イタタキ桑麻アサ稔穎イナボ志扶き躑りオホハラ百姓オホハラ膏膏腴腴のノ園園或或ハ草木クサキ志叢多生れり則すぬ則を則ちオホハラ幸魚アユ鞋麻サケ須伊ス具比イグヒ筋ラ鱧タタ等タタのタタ數タタりり漂ふ漂ち漂せ漂とも至に至く至れり至河カハ口カハよりカハ河カハ上カハ北カハ横田村ヨコタノムラ出ヨコタ雲ヨコタ津門ヨコタ間ヨコタ入ヨコタ郡ヨコタのヨコタ百姓ヨコタ河カハ又カハたカハよりカハてカハをカハりカハ出雲イヅモ津門ヨコタ飯石イヒシ仁多ニタ大系オホハラ郡オホハラなりハル春ハルのハルよりハル美ハル多ハル

ケタシメ。ムラサキノリ。生。クダラサエ。ウ。ニ。氣多嶋。紫菜海松。おひ。鯽螺子。棘甲。羸。り。

井ノ口。ハニ。ヒロ。シジフ。ニ。井呑。演。度。さ。四十二步。

ウダ。ホノ。ハニ。ヒロ。サムジフ。ゴ。ウ。太保。演。度。さ。三十八步。

オホサキノ。シ。タカ。イチ。チヤウ。タカ。ニ。ヒヤク。ゴ。大前。嶋。多。さ。一丈。周二百五十步。海藻。おひ。

オホサキノ。シ。ムラサキノリ。ニ。ギメ。生。ニ。ツカ。脳。嶋。紫菜。海藻。おひ。松。拍。り。

サキノ。ハニ。ヒロ。ニ。ヒヤク。サ。野。演。度。さ。二百步。

クロ。シ。生。玉。嶋。紫。藻。おひ。

メ。ヒノ。ハニ。ヒロ。ニ。ジフ。米。結。演。度。さ。二十步。

ニ。ヒノ。サキ。ナガ。イ。チ。リ。シ。ジフ。雨。比。嶋。長。さ。一里。四十步。度。さ。二十步。嶋。の。南。ハ。山。

ニ。シ。ヒム。カ。東。西。々。戸。と。通。て。船。往。來。ウ。へ。則。松。あ。げ。ま。る。

ニ。ツ。叢。生。松。あ。げ。ま。る。

ウ。レ。ホ。ウ。ラ。ヒ。ロ。シ。チ。ジフ。宇。津。保。浦。度。さ。七十八步。船。二十。件。と。及。び。可。泊。

ヤマ。サキ。タカ。サム。ジフ。ク。ガ。ヤウ。山。嶋。多。さ。二十九丈。周一里。二百又十步。推。捕。

ウ。キ。ニ。ツ。椿。松。り。

コ。オ。ヒ。ノ。シ。メ。子。負。嶋。破。ち。り。

オ。ホ。サ。キ。ノ。ハ。ニ。ヒ。ロ。イ。チ。キ。ン。ゴ。大。嶋。演。度。さ。一百五十步。

河前溪。廣さ一百二十步。百姓の家あり。

河巖崎。海藻あり。

河厨家崎。字さ四丈。周二十步。松あり。

等々崎。巖石花あり。

怪聞崎。長さ三十步。字さ二十二步。松あり。

意能保溪。廣さ一十八步。

粟崎。海藻あり。

玉崎。海藻あり。

這田溪。廣さ一百步。

二俣溪。廣さ九十八步。

門石崎。字さ五丈。周四十二步。鷲此栖あり。

箇長溪。長さ三里一百步。廣さ一里二百步。松あり。

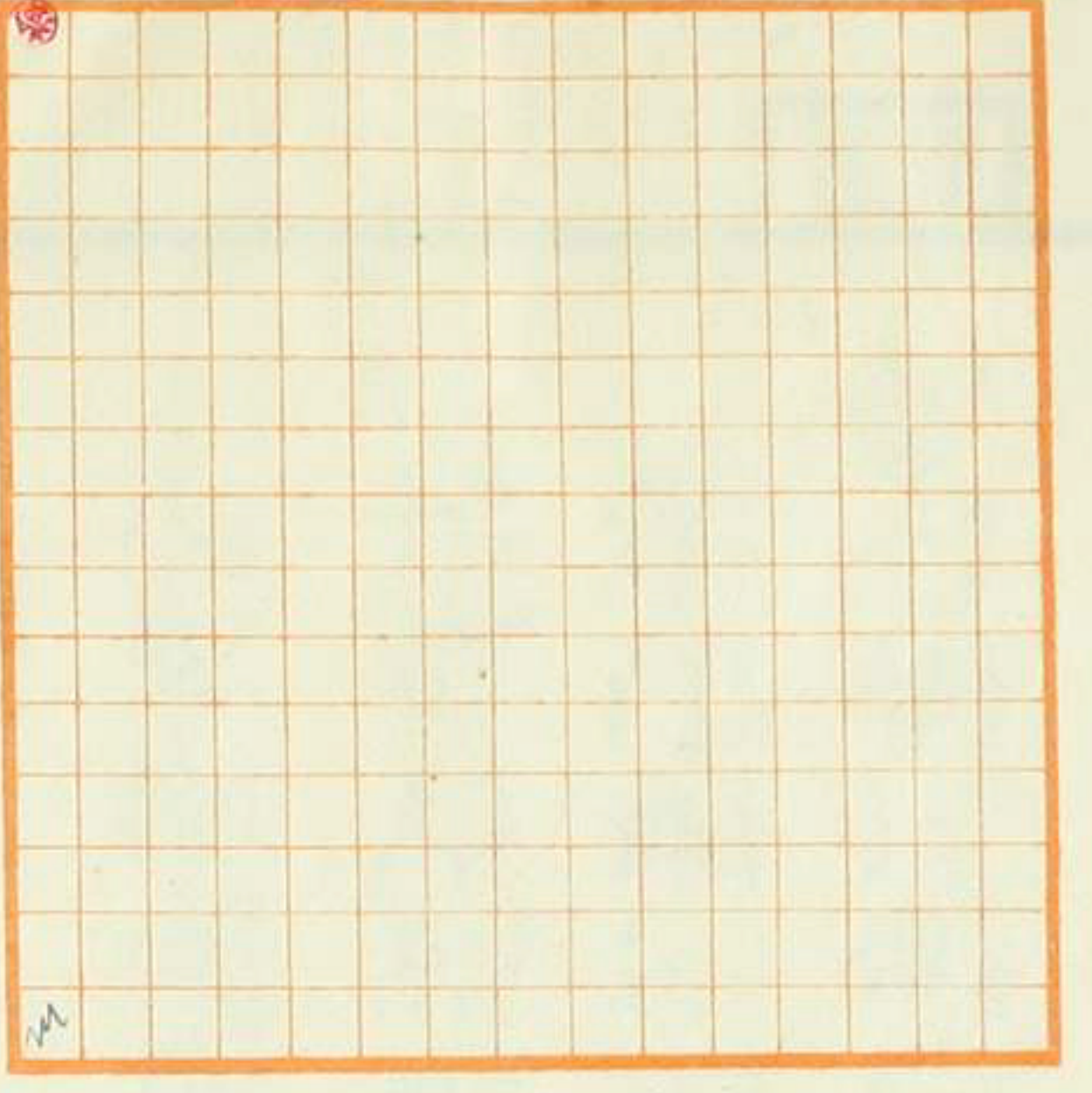
て多々。すめをら神門の水海より大海へ通り

く。江の長さ三里。廣さ一百二十步。此は則出雲

と神門と二郡此堰あり。

凡小海ふらゆるをいふは此おろ指縫郡の説也

1年2月



二百二十歩。

如アヒ但イッモノ所捕者
鮎出雲郡アヒりともイッモノすアヒれイッモノる。中アヒるイッモノの
所謂イッモノ河崎アヒは海イッモノ子アヒあイッモノれイッモノちイッモノり。

此イッモノ離村アヒふ通イッモノりて。一十三里イッモノ六十四歩。
出雲イッモノの大河アヒの邊イッモノふ通イッモノりて二里イッモノ六
カイッモノの埜アヒ多イッモノ我村アヒふ通イッモノりて一十五里イッモノ三十
此イッモノ埜アヒ宇加川アヒふ通イッモノりて一十四里イッモノ

郡司イッモノ主帳アヒ五位イッモノ着イッモノ倭イッモノ初イッモノ位イッモノ

大領外イッモノ正八位アヒ下置イッモノ初イッモノ位イッモノ

小領外イッモノ後八位アヒ下大イッモノ位イッモノ

主政外イッモノ大初位アヒ下〇イッモノ初イッモノ位イッモノ

